

# 第 5 回 幹細胞シンポジウム

## プログラム

期 日 : 平成 19 年 5 月 17 日 (木) ~19 日 (土)

会 場 : 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

当番幹事 : 大阪大学大学院 医学系研究科・生命機能研究科  
仲野 徹

主 催 : 幹細胞シンポジウム

## 5月17日 (木) 第一日

開会の辞 当番幹事：仲野 徹 13:20～13:30

セッション I：新しい方法論 13:30～15:35

座長：金沢大学 がん研究所 平尾 敦

- O-1 異種大型動物におけるサル ES 細胞移植後の長期肉眼的生着  
田中裕次郎<sup>1</sup>、中村紳一朗<sup>2</sup>、岸友紀子<sup>1</sup>、池田たま子<sup>1</sup>、柴田宏昭<sup>3</sup>、  
佐々木京子<sup>1</sup>、阿部朋行<sup>4</sup>、林 聡<sup>5</sup>、北野良博<sup>5</sup>、長尾慶和<sup>4</sup>、花園 豊<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学再生医学研究部、<sup>2</sup>予防衛生協会、<sup>3</sup>霊長類医科学研究センター、  
<sup>4</sup>宇都宮大学農学部、<sup>5</sup>国立成育医療センター)
- O-2 細胞外因子による ES 細胞自己複製機構  
小川和也、丹羽仁史  
(理化学研究所・CDB・多能性幹細胞研究チーム)
- O-3 多能性幹細胞創出への取り組み  
國里篤志、長尾研二、児玉祐貴、若月真理子、石田 功  
(キリンビール医薬フロンティア研究所)
- O-4 Nucleostemin の発現による組織幹細胞の可視化と同定  
大村昌子<sup>1</sup>、仲 一仁<sup>1</sup>、木下雅史<sup>1</sup>、玉 瀬玲<sup>1</sup>、新井文用<sup>2</sup>、永松 剛<sup>2</sup>、  
久保圭誉<sup>2</sup>、照田展大<sup>1</sup>、須田年生<sup>2</sup>、平尾 敦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>金沢大学がん研究所遺伝子染色体構築、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部発生分化)
- O-5 インビボ・イメージングを用いた毛包分化における CDK インヒビター p21 の  
機能解析  
大谷直子<sup>1</sup>、今村優子<sup>1</sup>、山越貴水<sup>1</sup>、高橋暁子<sup>1</sup>、中山里果<sup>2</sup>、廣田史子<sup>3</sup>、  
久保宜明<sup>4</sup>、石丸直澄<sup>5</sup>、平尾 敦<sup>6</sup>、林 良夫<sup>5</sup>、松本 満<sup>3</sup>、荒瀬誠治<sup>4</sup>、  
中尾和貴<sup>2</sup>、原 英二<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>徳島大学ゲノム機能研究センター、<sup>2</sup>理化学研究所・発生再生科学総合研究センター、  
<sup>3</sup>徳島大学分子酵素学研究センター、<sup>4</sup>徳島大学医学部皮膚科、  
<sup>5</sup>徳島大学歯学部口腔分子病態学、<sup>6</sup>金沢大学がん研究所)

コーヒーブレイク 15:35～15:55

セッション II：間葉系細胞 15:55～17:10

座長：東京都臨床医学総合研究所 原 孝彦

- O-6 間葉系幹細胞による Nitric Oxide (免疫抑制因子) の産生機序と IFN- $\gamma$  シグナル/  
NF- $\kappa$ B の関与  
翁 家国、尾崎勝俊、佐藤一也、小澤敬也  
(自治医科大学 内科学講座血液学部門)
- O-7 変異 ALK2 による筋サテライト細胞分化制御機構の破綻  
柳澤美智子、池本 円、橋本有弘  
(国立長寿医療センター 研究所 再生再建医学研究部)
- O-8 間葉系幹細胞の分離・同定と発生系譜に関する考察  
松崎有未<sup>1</sup>、森川 暁<sup>1,2</sup>、馬淵 洋<sup>1</sup>、岡野栄之<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>慶應・医・生理学、<sup>2</sup>慶應・医・歯科口腔外科学)

特別講演 I 17:10～18:10

座長：東京都臨床医学総合研究所 原 孝彦

### 遺伝子破壊メダカ作製系の樹立

武田俊一 (京都大学医学研究科放射線遺伝)

## ポスターセッション I

18:30~

- P-1 レチノイン酸によるヒストン修飾変換を介した神経幹細胞のアストロサイト分化促進機構の解明  
浅野弘嗣、波平昌一、神山 淳、青沼 真、佐野坂司、中島欽一  
 (奈良先端大・バイオ・分子神経分化制御)
- P-2 7q 欠失責任遺伝子候補 Miki の細胞分裂制御機能  
麻生博也、松井啓隆、尾崎佑子、安芸大輔、長町安希子、竹村幸敏、稲葉俊哉  
 (広島大学原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野)
- P-3 ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤による神経幹細胞分化制御と損傷脊髄再生治療への応用  
木青松昌彦、辻村啓太、神山 淳、波平昌一、中島欽一  
 (奈良先端大・バイオ・分子神経分化制御)
- P-4 ヒト骨髄・臍帯血由来間葉系幹細胞から肝細胞への分化の検討  
石井恭子、吉田陽子、下村 崇、汐田剛史  
 (鳥取大学大学院医学系研究科 機能再生医科学専攻 遺伝子医療学部門)
- P-5 Flk1 陽性多能性中胚葉細胞における転写制御ネットワーク  
石飛博之、若松麻美、高橋智、依馬正次  
 (筑波大学大学院基礎医学系、解剖学・発生学講座)
- P-6 マウス ES 細胞から中内胚葉細胞への分化における遺伝子ネットワークの解析  
泉 治紀、江良沢実、西川伸一  
 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ)
- P-7 白血病キメラ転写因子 AML1 (RUNX1)-MTG8 (ETO) と CBF $\beta$ -MYH1 による造血細胞の幹細胞性の亢進  
道下正貴<sup>1</sup>、岩間厚志<sup>2</sup>、市川 仁<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>国立がんセ・研・腫瘍発現解析、<sup>2</sup>千葉大・院・医・細胞分子医学)
- P-8 膵管上皮を起源とする  $\beta$  細胞産生機構 (Duct 説)  
稲田明理、赤司浩一  
 (九州大学医学研究院 SSP 幹細胞ユニット)
- P-9 ベクター産生型間葉系幹細胞の開発と癌自殺遺伝子療法への応用  
内堀亮介<sup>1</sup>、岡田尚巳<sup>1,2</sup>、伊藤孝幸<sup>1</sup>、卜部匡司<sup>1</sup>、水上浩明<sup>1</sup>、久米晃啓<sup>1</sup>、小澤敬也<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>自治医科大学分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部、  
<sup>2</sup>国立精神・神経センター 神経研究所遺伝子疾患治療研究部)
- P-10 GSK-3 阻害による効率的な ES 細胞の樹立  
榎原宏紀<sup>1</sup>、木村 透<sup>2</sup>、大塚 哲<sup>3</sup>、中村肇伸<sup>1</sup>、北島健二<sup>2</sup>、伊川正人<sup>4</sup>、岡部 勝<sup>4</sup>、丹羽仁史<sup>3</sup>、仲野 徹<sup>1,2</sup>  
 (<sup>1</sup>阪大院・生命機能、<sup>2</sup>阪大院・医、<sup>3</sup>理研 CDB、<sup>4</sup>阪大・遺伝情報実験センター)
- P-11 造血幹細胞における integrin  $\beta 3$  の発現  
梅本晃正<sup>1</sup>、大和雅之<sup>1</sup>、白土佳子<sup>2</sup>、寺沢公男<sup>2</sup>、西田幸二<sup>3</sup>、小林芳郎<sup>2</sup>、岡野光夫<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>東京女子医科大学 先端生命医科学研究所、<sup>2</sup>東邦大学 理学部 分子医学部門、  
<sup>3</sup>東北大学 眼科)

- P-12 ポリコム遺伝子 Eed による ES 細胞の未分化状態維持機構の解析  
浦 大樹、小出 寛、横田 崇  
 (金沢大学大学院 医学系研究科 再生分子医学)
- P-13 毛包における色素幹細胞の遺伝子発現解析  
江川形平、大沢匡毅、西川伸一  
 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ)
- P-14 造血幹細胞制御アダプター Lnk は B3 インテグリンシグナルを制御する  
江藤浩之<sup>1</sup>、滝沢 仁<sup>2</sup>、高木 智<sup>2</sup>、中内啓光<sup>1</sup>  
 (1 東京大学医科学研究所幹細胞治療 (高次機能) 研究分野、  
 2 国立国際医療センター研究所)
- P-15 クロマチン構造制御による ES 細胞の多分化能維持機構  
大川恭行、赤司浩一  
 (九州大学高等研究機構・医学研究院 SSP 幹細胞ユニット)
- P-16 ポリコム複合体 1 による DNA 複製制御因子 Geminin のユビキチン化と安定性制御  
大坪素秋<sup>1</sup>、安永晋一郎<sup>1</sup>、津村弥来<sup>1</sup>、大野芳典<sup>1</sup>、岡田 賢<sup>1,2</sup>、  
 石川暢恒<sup>1,2</sup>、時元利恵<sup>1</sup>、小林正夫<sup>2</sup>、瀧原義宏<sup>1</sup>  
 (1 広島大学・原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学研究分野、  
 2 広島大学大学院・歯歯薬学総合研究科・展開医科学専攻・病態情報医科学講座)
- P-17 HOXB4 遺伝子による Geminin-Cdt1 システムを介した造血幹細胞制御機構の解析  
大野芳典<sup>1</sup>、安永晋一郎<sup>1</sup>、大坪素秋<sup>1</sup>、津村弥来<sup>1</sup>、岡田 賢<sup>1,2</sup>、  
 石川暢恒<sup>1,2</sup>、時元利恵<sup>1</sup>、小林正夫<sup>2</sup>、瀧原義宏<sup>1</sup>  
 (1 広島大学・原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学研究分野、  
 2 広島大学大学院・歯歯薬学総合研究科・展開医科学専攻・病態情報医科学講座)
- P-18 Akt が体細胞核の初期化におよぼす影響  
小河祥子<sup>1</sup>、中村肇伸<sup>2</sup>、榎原宏紀<sup>2</sup>、木村 透<sup>1</sup>、仲野 徹<sup>1,2</sup>  
 (1 阪大・医・幹細胞病理学、2 阪大・生命機能・時空生物学)
- P-19 GATA-2 による間葉系幹細胞から脂肪細胞への分化制御  
沖津庸子、張替秀郎  
 (東北大学大学院医学系研究科 免疫・血液病学分野)
- P-20 アデノ随伴ウイルスの部位特異的ゲノム組込み機構を利用した安全な遺伝子導入法  
小原陽子、卜部匡司、水上浩明、久米晃啓、小澤敬也  
 (自治医科大学 分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部)
- P-21 神経上皮性幹細胞から神経前駆細胞への転換機構  
織原-小野美奈子、岡野栄之、中尾啓子  
 (慶應義塾大学医学部 生理学)
- P-22 マウス乳腺幹細胞による乳腺再構築モデルと発癌研究への展開  
甲斐千晴、清水孝恒、杉原英志、佐谷秀行  
 (慶應義塾大学医学部先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門)
- P-23 ヒト神経幹細胞/前駆細胞およびその分化細胞における遺伝子発現特性の検討  
金村米博<sup>1</sup>、正札智子<sup>1</sup>、山本篤世<sup>1</sup>、森 英樹<sup>1</sup>、岡野栄之<sup>2</sup>、山崎麻美<sup>1</sup>  
 (1 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究部、2 慶應義塾大学医学部 生理学)

- P-24 Nox4 による間葉系幹細胞の脂肪分化機構  
諫田泰成、渡辺康裕  
(防衛医科大学校・薬理学講座)
- P-25 ヒト正常造血における Flt3 の発現および機能解析  
菊繁吉謙、吉本五一、石川文彦、宮本浩、赤司浩一  
(九州大学病院 遺伝子細胞療法部)
- P-26 転写制御因子 E2F-6 による造血幹細胞の増殖に伴う E2F-1 依存性アポトーシス制御  
菊池次郎<sup>1</sup>、清水瑠美<sup>1</sup>、和田妙子<sup>1</sup>、安藤秀信<sup>2</sup>、中村 充<sup>2</sup>、石井秀始<sup>1</sup>、  
小澤敬也<sup>3</sup>、古川雄祐<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>自治医大・分子病態治療研究センター・幹細胞制御研究部、<sup>3</sup>血液学  
<sup>2</sup>産業技術総合研究所・糖鎖工学研究センター)
- P-27 間葉系幹細胞と造血幹細胞の相互作用の分子メカニズム  
菊池裕二<sup>1,2</sup>、久米晃啓<sup>2</sup>、卜部匡司<sup>2</sup>、水上浩明<sup>2</sup>、尾崎勝俊<sup>1</sup>、小澤敬也<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>自治医科大学 内科学講座血液学部門、<sup>2</sup>遺伝子治療研究部)
- P-28 軟骨細胞分化における Akt の機能解析  
北 圭介<sup>1,2</sup>、中村憲正<sup>2</sup>、吉川秀樹<sup>2</sup>、木村 透<sup>1</sup>、仲野 徹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>阪大院・医・病理、<sup>2</sup>阪大院・医・整形外科)
- P-29 転写因子 PU.1 による造血細胞の多能性・自己複製制御  
北島健二、鄭 潔、顔 宏哲、杉山大二郎、仲野 徹  
(大阪大学大学院・医学系研究科 21 世紀 COE“CICET”、生命機能研究科)
- P-30 ヒト CD34 抗原陰性造血幹細胞の未分化性について  
木村貴文、浅田留美子、木村 卓、長谷 真、佐々木豊、菌田精昭  
(関西医科大学大学院医学研究科先端医療学専攻修復医療応用系幹細胞生物学)
- P-31 Akt シグナルによる表皮幹細胞の活性化と前駆細胞の増幅  
木村 透<sup>1</sup>、村山一茂<sup>1</sup>、樽谷勝仁<sup>2</sup>、林 竜平<sup>5</sup>、岡部 勝<sup>6</sup>、西田幸二<sup>5</sup>、  
板見 智<sup>3</sup>、片山一朗<sup>2</sup>、仲野 徹<sup>1,4</sup>  
(<sup>1</sup>阪大・医・幹細胞病理学、<sup>2</sup>皮膚科学、<sup>3</sup>皮膚・毛髪再生医学、<sup>4</sup>阪大・生命機能、  
<sup>5</sup>東北大・医・眼科学、<sup>6</sup>阪大・微研・遺伝情報)
- P-32 ES 細胞由来の内胚葉系細胞の解析と新規幹細胞マーカーの同定  
吉田 哲、白木伸明、糸 和彦、糸 昭苑  
(熊本大学 発生医学研究センター 幹細胞制御分野)
- P-33 単一細胞マイクロアレイによるマウス始原生殖細胞形成過程の解析  
栗本一基、藪田幸宏、斎藤通紀  
(理化学研究所 CDB 哺乳類生殖細胞研究チーム)
- P-34 Evi-1 による造血及び白血病の制御機構  
合山 進、山本 豪、佐藤智彦、市川 幹、小川誠司、千葉 滋、黒川峰夫  
(東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科)
- P-35 新規マウス Piwi ファミリー、PIWI2/MISTI の解析  
後藤健吾、倉持 - 宮川さとみ、浅田徳子、仲野 徹  
(大阪大学 生命機能研究科/医学系研究科)
- P-36 造血幹細胞の幹細胞機能と ABC トランスポーター Bcrp1 の関連性  
小林俊寛、江藤浩之、中内啓光  
(東京大学医科学研究所・高次機能(幹細胞治療)研究分野)

## 5月18日 (金) 第二日

## セッションⅢ：造血幹細胞

8:30~10:10

座長：宮崎大学医学部

下田和哉

- O-9 エピジェネティックな制御によるヒト造血幹細胞の自己複製能の維持  
荒木裕登<sup>1</sup>、Nadim Mahmud<sup>2</sup>、片山直之<sup>1</sup>  
 (1 三重大学造血病態内科学、  
<sup>2</sup>University of Illinois at Chicago, Section of Hematology/Oncology)
- O-10 Mastermind-1 は、リンパ球発生における Notch シグナル依存性ステップ遂行に  
 必須である  
小山敏尚<sup>1</sup>、張ヶ谷健一<sup>1</sup>、Ablimit Muradil<sup>1</sup>、穂積勝人<sup>5</sup>、垣生園子<sup>5</sup>、  
小黒秀行<sup>2</sup>、岩間厚志<sup>2</sup>、平原 潔<sup>3</sup>、山下政克<sup>3</sup>、中山俊憲<sup>3</sup>、坂本明美<sup>4</sup>、  
徳久剛史<sup>4</sup>、坂本怜子<sup>6</sup>、佐藤充治<sup>6</sup>、吉田進昭<sup>6</sup>、北川元生<sup>1</sup>  
 (1 千葉大学大学院医学研究院 腫瘍病理学、<sup>2</sup>細胞分子医学、<sup>3</sup>免疫発生学、  
<sup>4</sup>分化制御学、<sup>5</sup>東海大学医学部 免疫学、<sup>6</sup>東京大学医科学研究所)
- O-11 AML1 機能不全による造血幹細胞動態の変化  
市川 幹・浅井隆司・中川正宏・河津正人・合山 進・竹下昌孝・千葉 滋・  
小川誠司・黒川峰夫  
 (東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科)
- O-12 MOZ 及び MOZ 融合遺伝子産物による造血幹細胞と白血病幹細胞の形成・維持の  
 分子機構  
北林一生、勝本拓夫、相川祐規子、吉田尚美、相川典子、篠 実花  
 (国立がんセンター研究所 分子腫瘍学部)

## コーヒーブレイク

10:10~10:30

## セッションⅣ：幹細胞ニッチ

10:30~11:45

座長：奈良女子大学大学院

渡邊利雄

- O-13 造血幹細胞の冬眠と ex vivo 疑似ニッチの構築  
山崎 聡<sup>1,2</sup>、中内啓光<sup>1</sup>  
 (1 東京大学医科学研究所幹細胞治療 (高次機能) 研究分野、<sup>2</sup>株式会社リプロセル)
- O-14 骨芽細胞ニッチ-造血幹細胞の相互作用における N-cadherin/ $\beta$ -catenin の機能  
細川健太郎、新井文用、吉原宏樹、田久保圭誉、須田年生  
 (慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学)
- O-15 骨髄内造血微小環境におけるヒト造血幹細胞の階層性構築  
八幡 崇、六車ゆかり、弓野 静、宇野トモ子、盛 音、安藤 潔  
 (東海大学医学部再生医学センター)

## 特別講演Ⅱ

11:45~12:45

座長：奈良女子大学大学院

渡邊利雄

## Wnt シグナルネットワークによる多彩な細胞機能制御とその異常による病態

菊池 章 (広島大学大学院歯歯薬学総合研究科分子細胞情報学)

## 昼食

12:45~13:45

幹事会	304号室	(12:45~13:30)
記念撮影	1階エントランス	(13:30~13:40)



**セッションV：神経細胞****13:45~15:50**

座長：東京大学分子細胞生物学研究所

後藤由季子

- O-16 生後海馬神経新生を制御する高度不飽和脂肪酸および脂肪酸結合タンパク質の解析  
前川素子<sup>1,2</sup>、松股美穂<sup>1</sup>、大和田祐二<sup>3</sup>、紺谷昌仙<sup>4</sup>、木曾良信<sup>4</sup>、  
湯浅茂樹<sup>2</sup>、大隅典子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大・院・医、<sup>2</sup>国立精神・神経セ、<sup>3</sup>山口大・院・医、<sup>4</sup>サントリー・健・研)
- O-17 表面抗原をてがかりとしたマウス網膜分化過程とその制御機構の解析  
渡辺すみ子、高祖秀登、大内靖夫、佐藤伸哉  
(東京大学医科学研究所 再生基礎医科学研究分野)
- O-18 Tsukushi は Wnt シグナル経路を阻害することにより、網膜幹細胞の増殖を  
制御する  
太田訓正、伊藤綾子、田中英明  
(熊本大学・大学院医学薬学研究部)
- O-19 Wnt/beta-catenin シグナルは N-Myc を介して神経幹細胞を減らし、ニューロン  
前駆細胞の増殖を促進する  
桑原 篤、平林祐介、増山典久、後藤由季子  
(東京大学 分子細胞生物学研究所)
- O-20 メチル化 DNA 結合蛋白質を介した神経系細胞分化可塑性制御機構の解析  
波平 昌一、瀬戸口 廣貴、辻村 啓太、神山 淳、中島 欽一  
(奈良先端大・バイオ・分子神経分化制御)

**コーヒーブレイク****15:50~16:10****セッションVI：転写調節****16:10~17:25**

座長：理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター 古関明彦

- O-21 四肢発生における転写ネットワークの解明  
横山成俊<sup>1</sup>、橋本 徳<sup>1</sup>、光岡和彦<sup>1</sup>、工藤寛枝<sup>1</sup>、田中輝幸<sup>1</sup>、土屋 恵<sup>1</sup>、  
浅田真紀<sup>1</sup>、山下 聡<sup>1</sup>、堀内真千子<sup>1</sup>、伊藤義晃<sup>1</sup>、東山礼治<sup>1</sup>、日方智宏<sup>1</sup>、  
伊藤達男<sup>2</sup>、津田真尚<sup>2</sup>、味八木茂<sup>1</sup>、浅原弘嗣<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>国立成育医療センター研究所 移植・外科部門、<sup>2</sup>スクリプス研究所)
- O-22 Geminin-Cdt1 システムは DNA 複製ライセンス化制御を介して造血幹細胞の  
活性を制御している  
安永晋一郎<sup>1</sup>、大坪素秋<sup>1</sup>、大野芳典<sup>1</sup>、津村弥来<sup>1</sup>、岡田 賢<sup>1,2</sup>、  
石川暢恒<sup>1,2</sup>、時元利恵<sup>1</sup>、小林正夫<sup>2</sup>、瀧原義宏<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>広島大学・原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学研究分野、  
<sup>2</sup>広島大学大学院・医歯薬学総合研究科・病態情報医科学講座 (小児科学))
- O-23 ポリコム群による ES 細胞の未分化性維持  
遠藤充浩、古関明彦  
(理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター・免疫器官形成研究グループ)

**特別講演III****17:25~18:25**

座長：理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター 古関明彦

**肝毛細胆管から発展した細胞生物学**

ー上皮細胞間接着装置・アピカル膜を構築する細胞膜裏打ち蛋白質ー

月田早智子 (大阪大学生命機能研究科分子生体情報学)

**総会****18:25~18:35**

## ポスターセッションⅡ

18:55～

- P-37 ショウジョウバエ生殖細胞特異的に発現する rasiRNA の生合成機構  
齋藤都暁、西田知訓、Lalith S. Gunawardane、三好啓太、河村佳紀、  
塩見春彦、塩見美喜子  
(徳島大学ゲノム機能研究センター)
- P-38 Notch シグナルによる肥満細胞の分化と機能の制御  
坂田・柳元麻実子<sup>1,2</sup>、山口悦子<sup>1</sup>、斉藤俊樹<sup>1</sup>、小川誠司<sup>2</sup>、黒川峰夫<sup>2</sup>、  
千葉 滋<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院無菌治療部、<sup>2</sup>東京大学大学院血液腫瘍病態学)
- P-39 Evi-1 による胎生期造血の制御機構  
佐藤智彦、合山 進、黒川峰夫  
(東京大学医学部附属病院大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科)
- P-40 神経幹細胞の多分化能獲得制御に関する転写調節因子群の探索  
佐野坂司<sup>1</sup>、波平昌一<sup>1</sup>、浅野弘嗣<sup>1</sup>、神山 淳<sup>1</sup>、相崎健一<sup>2</sup>、五十嵐勝秀<sup>2</sup>、  
菅野 純<sup>2</sup>、中島欽一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>奈良先端大・バイオ・分子神経分化制御、<sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所・毒性部)
- P-41 霊長類 ES 細胞を用いた血管内皮細胞からの造血発生  
篠田 現、梅田雄嗣、平家俊男、中畑龍俊  
(京都大学大学院医学研究科 発達小児科学)
- P-42 多能性幹細胞における 14-3-3 $\sigma$  の発現と機能  
澁谷昌幸<sup>1</sup>、黒崎 創<sup>2</sup>、押村光雄<sup>2</sup>、久留一郎<sup>1</sup>、白吉安昭<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>鳥取大学大学院・機能再生医科学・再生医療学部門、  
<sup>2</sup>鳥取大学大学院・機能再生医科学・遺伝子機能工学)
- P-43 原始内胚葉系幹細胞に関わる転写因子の解析  
下里大輔、丹羽仁史  
(理研・CDB・多能性幹細胞研究チーム)
- P-44 PTEN による肺形態形成・肺幹細胞・肺癌発症の制御  
柳 重久、岸本恕征、佐々木雄彦、仲野 徹、中里雅光、鈴木 聡  
(秋田大学医学部分子医科学分野・感染制御学、大阪大学医学部病理学、  
宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝内科学)
- P-45 褐色脂肪細胞は心臓ペースメーカー細胞に分化する  
高橋聖尚、永井敏雄、小山知美、岩永孝治、小室一成  
(千葉大学大学院医学研究院 循環病態医科学)
- P-46 ヒト胚性幹 (ES) 細胞からの巨核球/血小板への分化誘導  
高山直也、錦井秀和、臼井丈一、江藤浩之、中内啓光  
(東京大学医科学研究所 高次機能研究分野)
- P-47 マウス ES 細胞の中胚葉分化における NF- $\kappa$ B の機能解析  
田中宏和<sup>1,2</sup>、松村 到<sup>2</sup>、江良拓実<sup>3</sup>、金倉 譲<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>先端医療センター 血液再生研究グループ、  
<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学、  
<sup>3</sup>理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 幹細胞研究グループ)
- P-48 ショウジョウバエ神経幹細胞の時間変化と休眠  
辻 拓也、一色孝子  
(国立遺伝研・新分野創造センター)



- P-49 MeCP2 によるニューロン分化誘導機構の解明とその再生医療応用への可能性  
辻村啓太、瀬戸口廣貴、精松昌彦、神山 淳、波平昌一、中島欽一  
(奈良先端大・バイオ・分子神経分化制御)
- P-50 マウス ES 細胞・生殖細胞特異的新規 bHLH 型遺伝子 CUE318 の機能解析  
豊田秀一、宮崎竜志、宮崎早月、能村卓滋、山本まゆ、田代 文、倭 英司、  
宮崎純一  
(大阪大学大学院医学系研究科 幹細胞制御学分野)
- P-51 未分化 ES 細胞において Oct3/4 が一定量の発現に収斂する仕組み  
中武悠樹<sup>1</sup>、赤木紀之<sup>2</sup>、小出 寛<sup>2</sup>、横田 崇<sup>2</sup>、丹羽仁史<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>理化学研究所 CDB 多能性幹細胞研究チーム、  
<sup>2</sup>金沢大学大学院・医学系研究科・再生分子医学研究分野)
- P-52 Ph1 陽性白血病細胞をモデルとしたヒト造血前駆細胞の性状解析の試み  
根本 篤、犬飼岳史、清河信敬\*、杉田完爾、中澤眞平  
(山梨大学医学部小児科、国立成育医療センター研究所\*)
- P-53 マウス胎生中期の AGM に存在する未分化血球細胞の解析  
信久幾夫、大津直樹、山崎奨太郎、田賀哲也  
(熊本大・発生研・転写制御)
- P-54 Meis1/3 遺伝子は ICSBP 欠損マウスの顆粒球分化を促進する  
原 孝彦<sup>1</sup>、Maike Schwieger<sup>2</sup>、風間律子<sup>1</sup>、岡本土毅<sup>3</sup>、Carol Stocking<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>財団法人東京都医学研究機構・東京都臨床医学総合研究所・幹細胞プロジェクト、  
<sup>2</sup>ハインリッヒペテ研究所、<sup>3</sup>自然科学研究機構・生理学研究所)
- P-55 生後脳海馬神経新生における Ephrin-A5 の機能  
原 芳伸<sup>1</sup>、Jonas Frisén<sup>2</sup>、大隅典子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科 創生応用医学研究センター、  
<sup>2</sup>Department of Cell and Molecular Biology, Karolinska Institute)
- P-56 大脳皮質由来神経幹細胞の運命の発生時期依存的変化  
平林祐介、桑原 篤、中野徳重、増山典久、後藤由季子  
(東京大学分子細胞生物学研究所 情報伝達研究分野)
- P-57 胚性幹細胞由来心筋細胞シートの構築  
増田信奈子<sup>1</sup>、清水達也<sup>1</sup>、大和雅之<sup>1</sup>、山下 潤<sup>2</sup>、岡野光夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京女子医科大学先端生命医科学研究所、  
<sup>2</sup>京都大学再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センター)
- P-58 心臓由来 Sca-1 陽性細胞株の多分化能  
松浦勝久<sup>1</sup>、永井敏雄<sup>2</sup>、岩永孝治<sup>2</sup>、小山知美、笠貫 宏<sup>1</sup>、小室一成<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東京女子医科大学循環器内科、<sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学)
- P-59 生後海馬歯状回の神経新生における脂肪酸結合タンパク質 FABP7 の役割  
松股美穂<sup>1</sup>、前川素子<sup>2</sup>、大和田祐二<sup>3</sup>、大隅典子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学医学系研究科創生応用センター形態形成解析分野、  
<sup>2</sup>国立精神神経センター 微細構造研究部、<sup>3</sup>山口大学医学系研究科器官解剖学分野)
- P-60 ヒト骨髄間葉系幹細胞の分離と同定  
馬淵 洋、森川 暁、岡野栄之、松崎有未  
(慶應義塾大学医学部 生理学教室)
- P-61 MILI を介したレトロトランスポゾンの発現制御と生殖幹細胞の維持  
宮川(倉持) さとみ、後藤健吾、浅田徳子、仲野 徹  
(阪大・生命機能研究科/医学系研究科・幹細胞病理)

- P-62 ラミニンと  $\alpha$ -dystroglycan の結合は骨格筋衛星細胞の増殖に必須である  
宮本香織<sup>1,2</sup>、花岡和則<sup>2</sup>、遠藤玉夫<sup>3</sup>、鈴木友子<sup>1</sup>、武田伸一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>北里大学 理学研究科 生物科学専攻 発生工学、  
<sup>2</sup>国立精神・神経センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部、  
<sup>3</sup>東京都老人総合研究所 老化ゲノム機能研究チーム)
- P-63 転写因子 c-myb による巨核球造血制御  
向井陽美<sup>1,3</sup>、本橋ほづみ<sup>2</sup>、山本雅之<sup>2,3</sup>、長澤俊郎<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大学人間総合科学研究科先端応用医学専攻血液病態制御分野、  
<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科 医科学分野、<sup>3</sup>筑波大学 TARA センター)
- P-64 マウス ES 細胞用いた神経堤細胞の発生・分化の解析  
本橋 力、千葉海理、山中勝正、國貞隆弘  
(岐阜大学大学院・再生医科学独立専攻・組織器官形成分野)
- P-65 骨格筋 Side Population (SP) 細胞は筋衛星細胞による筋再生を促進する  
本橋紀夫<sup>1,2</sup>、上住聡芳<sup>3</sup>、矢田英理香<sup>1</sup>、深田宗一郎<sup>4</sup>、今泉和彦<sup>2</sup>、  
鈴木友子<sup>1</sup>、武田伸一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国立精神・神経センター神経研究所 遺伝子疾患治療研究部、  
<sup>2</sup>早稲田大学大学院 人間科学研究科 健康・生命医科学研究領域、  
<sup>3</sup>藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 難病治療学、  
<sup>4</sup>大阪大学大学院 薬学研究科 細胞生理学分野)
- P-66 ヒト神経幹細胞/前駆細胞の neurosphere 形成が及ぼす増殖促進効果  
森 英樹、正札智子、山崎麻美、金村米博  
(国立病院機構大阪医療センター 臨床研究部)
- P-67 ヒト好酸球前駆細胞の純化同定  
森 康雄<sup>1</sup>、岩崎浩己<sup>2</sup>、吉本五一<sup>1</sup>、菊繁吉謙<sup>1</sup>、竹中克斗<sup>1</sup>、宮本敏浩<sup>2</sup>、  
原田直樹<sup>1</sup>、長藤宏司<sup>1</sup>、原田実根<sup>1</sup>、高津聖志<sup>3</sup>、赤司浩一<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学 病態修復内科学、<sup>2</sup>同 遺伝子・細胞療法部、<sup>3</sup>東京大学 医科学研究所)
- P-68 マウス骨髄間葉系幹細胞の分離と同定  
森川 暁、馬淵 洋、岡野栄之、松崎有未  
(慶應義塾大学医学部 生理学教室)
- P-69 HDAC11 は筋衛星細胞 (骨格筋幹細胞) の分化制御因子である  
矢田英理香<sup>1</sup>、本橋紀夫<sup>1,2</sup>、宮岸 真<sup>3</sup>、原野千加<sup>1</sup>、鈴木友子<sup>1</sup>、武田伸一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国立精神・神経センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部、  
<sup>2</sup>早稲田大学大学院 人間科学研究科 健康・生命医科学研究科領域、  
<sup>3</sup>東京大学大学院 医学系研究科 21 世紀 COE プログラム)
- P-70 マウス発生過程における AA4 陽性造血前駆細胞の解析  
山根利之<sup>1</sup>、山崎英俊<sup>1</sup>、Irving L. Weissman<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>三重大学大学院医学系研究科 再生統御医学、<sup>2</sup>スタンフォード大学医学部 病理学)
- P-71 ヒト Embryonic Stem Cell (hESC)からの好中球誘導  
横山泰久<sup>1,2</sup>、鈴木隆浩<sup>1,3</sup>、小川誠司<sup>1,2,3</sup>、黒川峰夫<sup>2</sup>、千葉 滋<sup>1</sup>  
(東京大学医学部附属病院・大学院医学系研究科、<sup>1</sup>無菌治療部、<sup>2</sup>血液腫瘍内科、  
<sup>3</sup>造血再生医療講座)
- P-72 AML1 点変異はマウス BMT モデルにおいて MDS/AML を発症させる  
渡辺・大河内直子、北浦次郎、小埜良一、原田浩徳、原田結花、中島秀明、  
野阪哲哉、稲葉俊哉、北村俊雄  
(東京大学医科学研究所 細胞療法分野)

## 5月19日 (土) 第三日

## セッションⅦ：生殖細胞、初期発生

8:30~10:10

座長：東京大学医科学研究所

後藤典子

- O-24 マウス生殖細胞形成に必須な遺伝子 Prdm14 の同定と機能解析  
 山路剛史<sup>1,2</sup>、関 由行<sup>1</sup>、湯浅美穂子<sup>1</sup>、繁田麻葉<sup>1</sup>、栗本一基<sup>1</sup>、  
 藪田幸宏<sup>1</sup>、大日向 康秀<sup>1</sup>、斎藤 通紀<sup>1,2,3</sup>  
 (1理研 CDB・哺乳類生殖細胞、2京大院・生命科学、3さきがけ JST)
- O-25 胚盤胞内幹細胞を制御するパラクライン因子 FGF4 ならびに Bmp4 による  
 シグナル伝達  
 室橋道子<sup>1</sup>、中村能久<sup>2</sup>、田中 智<sup>3</sup>、市瀬多恵子<sup>4</sup>、吉田進昭<sup>4</sup>、  
 澁谷正史<sup>1</sup>、後藤典子<sup>1</sup>  
 (1東京大学医科学研究所 腫瘍抑制、4遺伝子機能、  
 2Harvard University School of Public Health Department of Genetics and  
 Complex Diseases、3東京大学 獣医生化学)
- O-26 PGC7/Stella による受精卵雌性ゲノムの脱メチル化からの回避  
 中村肇伸<sup>1</sup>、新井良和<sup>2</sup>、榎原宏紀<sup>1</sup>、木村 透<sup>3</sup>、伊川正人<sup>4</sup>、岡部 勝<sup>4</sup>、  
 田中 智<sup>2</sup>、塩田邦郎<sup>2</sup>、仲野 徹<sup>1,3</sup>  
 (1阪大・生命機能、2東大院・農生命・細胞生化学、3阪大・医・幹細胞病理学、  
 4阪大・微研・遺伝情報)
- O-27 ショウジョウバエ生殖巣における生殖幹細胞形成因子の探索  
 浅岡美穂、広海 健  
 (国立遺伝学研究所 発生遺伝研究部門)

## コーヒーブレイク

10:10~10:30

## セッションⅧ：多能性幹細胞

10:30~11:45

座長：理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 齋藤通紀

- O-28 未分化マウス胚性幹細胞における細胞周期制御機構  
 藤井裕子、正井久雄  
 (東京都臨床医学研究所 ゲノム動態プロジェクト)
- O-29 Wnt 誘導型転写因子 BTEB2/Klf5 による幹細胞維持機構  
 依馬正次、高橋 智、藤井義明  
 (筑波大学大学院基礎医学系、解剖学・発生学講座)
- O-30 Nanog レポーターを用いた誘導多能性幹細胞の樹立  
 沖田圭介<sup>1</sup>、一阪朋子<sup>1,2</sup>、山中伸弥<sup>1,2</sup>  
 (1京都大学再生研再生誘導、2CREST)

## 閉会の辞

次回当番幹事：須田年生

11:45~11:55